

\* 下記工事について適正に監理を行い法に適合していることを確認しましたので関係資料を添付し報告いたします。

鉄骨造中間検査チェックシート

建築敷地の所在地	
確認年月日・番号	
建築主住所氏名	TEL
工事監理者住所氏名	TEL
工事施工者住所氏名	TEL

項目	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果	検査機関用①		
						検査方法②	結果	
							良否	備考
①敷地の形状、高さ、衛生及び安全	a) 敷地の高さ形状寸法 道路との接続状況 b) 擁壁の設置状況 c) 建築物の配置					A・C		
他 工 程 部 分	基礎工事	7(1)中間検査チェックシート(RC造)による				C		
	R C工事	7(1)中間検査チェックシート(RC造)による				C		
I 報 告 書 審 査 に よ る 確 認 事 項	①加工工場の選定③	建築物の規模等認定の条件に見合った生産能力があること				C		
	②指定建築材料の品質確認	a) 鋼材、高力ボルトセットの規格・品質の確認				C		
		b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否				C		
	③組立精度の確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組み立て時の鉄骨の精度				C		
	④製品検査1(鉄骨部分の寸法精度測定)	鉄骨部材の寸法精度(参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準)				C		
	⑤高力ボルト接合部の処理	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ・縁端距離等				C		
⑥製品検査2(溶接接合部の品質)	外観検査及び超音波探傷検査の結果確認(参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準 UT 基準⑦)				C			

II 現場 検査 事項	1 全体	① 加工工場の種類	表示板による加工工場の種別グレード確認					A · C				
		② 材料の品質規格確認	a) 鋼材等の品質規格証明書と現物との照合					A · C				
			b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせ適否					A · C				
		③ 部材の配置	柱、はり、ブレース、床版等の配置(確認添付図書との照合)					A · C				
		④ 部材の寸法・形状	柱、はり、ブレース、床版等の寸法・形状(確認添付図書との照合)					A · B · C				
	⑤ 建て方精度	架構の建て方精度(参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準)					A · C					
	2 溶接 接合部	① 加工溶接部分の外観・形状・寸法④4	a) 溶接継ぎ目の種類(突合せ溶接・すみ肉溶接)						A · B · C			
			b) ダイアフラムとフランジのずれ						A · B · C			
			c) 突合せ継手の食違い							A · B · C		
			d) アンダーカット							A · B · C		
			e) われ							A · B · C		
			f) その他の溶接部分の外観・形状・寸法(参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準)							A · B · C		
		② 現場溶接部分組立精度④5	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組み立て時の鉄骨の精度							C		
		③ 現場溶接部分の製品検査	外観検査及び超音波探傷検査結果(参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準, UT 基準④7)							C		
		④ 現場溶接部分の外観・形状・寸法	a) 現場溶接部の部位(確認図書との照合)							A · C		
b) 溶接継ぎ目の種類(突合せ溶接・すみ肉溶接)									A · B · C			
c) ダイアフラムとフランジのずれ								A · B · C				
d) 突合せ継手の食違い								A · B · C				
e) アンダーカット								A · B · C				

		f) その他の溶接部の外観・形状・寸法 (参考: JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準)					A・B・C			
高力ボルト接合部 注5	①トルシア形	a) 現場受け入れ検査(トルク係数値確認・導入張力確認試験)実施状態の確認					C			
		b) ボルトの本数、スプライス数、摩擦接合面の確認					A・C			
		c) ボルトの径、孔径、中心距離、縁端距離の確認					A・C			
		d) 締め付け状況の確認(肌すき・ピントール破断・マーキングの状態)の確認					A・C			
	②JIS形六角	a) 締め付け機器の調整、現場受け入れ検査(導入張力確認試験)実施状況の確認						C		
		b) ボルトの本数、スプライス数、摩擦接合面の確認						A・C		
		c) ボルトの径、孔径、中心距離、縁端距離の確認						A・B・C		
		d) 締め付け状態の確認(肌すきの有無・マーキングの状態)の確認						A・C		
4	ブレース接合部	ブレース接合部の形式・板厚・材質・補剛材等の確認					A・C			
5 柱の脚部の構造方法	共通	柱脚接合法と仕様の確認(確認添付図書との照合)					A・C			
	①露出形式	a) アンカーボルトの材質・径・本数とナットの高さの確認					A・B・C			
		b) アンカーボルトの均等な配置の確認						A・C		
		c) 座金の使用、ナットの戻り止め措置の確認						A・C		
		d) アンカーボルトの定着長さの確認						A・B・C		
		e) 柱の最下端の断面積に対するアンカーボルトの全断面積の割合の確認						A・C		
		f) ベースプレートの厚さの確認						A・B・C		
		g) アンカーボルトの径、孔径、縁端距離の確認						A・C		

	h) アンカーボルトの締め付け状態の確認					A ・ C		
②根巻き形式	a) 根巻き部分の高さの確認					A ・ C		
	b) 根巻き部分の立上り主筋の本数及びその頂部のかぎ状加工の確認					A ・ C		
	c) 立上り主筋の定着長さ（根巻き部分・基礎）の確認					A ・ B ・ C		
	d) 根巻き部分の帯筋（令 77②③）の確認					A ・ B ・ C		
	e) スタッドボルトの径・本数・配置の確認					A ・ C		
③埋込み型式	a) 柱の埋込長さの確認					A ・ B ・ C		
	b) 側柱・隅柱のU字形補強筋等による補強の確認					A ・ B ・ C		
	c) 埋込部分の鉄骨のかぶり厚さの確認					A ・ B ・ C		
	d) スタッドボルトの径・本数・配置の確認					A ・ C		
6床スラブ接合部	a) 床構造の型式（合成スラブ）					A ・ C		
	b) シヤーコネクタ（頭付きスタッド等）の施工状況・検査結果の確認					A ・ C		
7 帳壁等の接合部	緊結金物の取り付け状況の確認					A ・ C		
III 不具合の処置及び照合結果の考察								
IV 添付図書	<input type="checkbox"/> 製作要領書 <input type="checkbox"/> 鋼材ミルシート <input type="checkbox"/> 鉄骨工事施工状況報告書 <input type="checkbox"/> 鉄骨精度測定結果 <input type="checkbox"/> 溶接部社内検査結果報告書 <input type="checkbox"/> 溶接部受入検査結果報告書（第三者検査） <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 鉄骨製作工場のグレード（J,R,M,H,S）の分かる書類							

㊦1 検査機関とは、建築主事又は指定確認検査機関をいう。

㊦2 検査の方法

（A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事監理報告等の確認による）

㊦3 鉄骨加工工場については、規則第1条の3に基づく図書省略に関する大臣認定制度がある。図書省略をしない場合は大臣認定工場の指定はない。

㊦4 当該工事の構造耐力上主要な部分のうち、工場で溶接された部分

㊦5 当該工事の構造耐力上主要な部分の接合に用いる高力ボルト等を選択して記入する。

㊦6 当該工事の構造耐力上主要な部分の接合に現場溶接を用いる場合にのみ記入する。

㊦7 UT基準：日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基

鉄筋コンクリート造（基礎部分等）中間検査チェックシート

項目	照合内容	照合を行なった設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果	検査機関用①			
						検査方法②		結果	
						A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	良否	備考	
① 敷地	敷地の形状、高さ、衛生及び安全	a) 敷地の高さ、形状、寸法、道路との接続状況 b) 擁壁の設置状況 c) 建築物の配置				A・C			
② 全体	共通	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認				A・C			
		b) かぶり厚さの確保				A・B・C			
		c) 鉄筋の材質（JIS規格）の確認				A・B・C			
		d) コンクリートの材質（JIS規格）の確認				C			
③ 地盤・基礎	支持地盤	a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認				A・C			
	基礎・くいの種類、配筋	b) 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心による補強等の確認 c) ベース寸法、主筋の径、本数、位置、定着等の確認				A・B・C			
	地中ばり	d) 地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認（参考：配筋指針「基礎」等）				A・B・C			
④ 柱	一般階主筋	a) 柱寸法、主筋の径、本数、配置（方向）、偏心による補強等の確認（参考：配筋指針「基礎ばり」等）				A・B・C			
		b) 2段筋の位置（間隔）の確認（参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等）				A・B・C			
	最上階主筋	c) 柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフックの確認 最上階の主筋のはりに対する定着確認（参考：配筋指針「柱頭（最上階）の配筋」等）				A・B・C			
	最下階主筋	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認（参考：配筋指針「柱脚（最下階）の配筋」等）				A・B・C			
	定着・継手	e) 主筋の継手位置の確認（参考：JASS5「柱筋の継手の位置及び定着」等）				A・B・C			

		f) ふかしの大きさによる配筋補強確認(参考:配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」等)					A・B・C		
	帯筋	g) 鉄筋径、間隔、本数(副帯筋共)及び形状の確認(参考:配筋指針「帯筋、副帯筋の一般形状」等)					A・B・C		
		h) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認(参考:配筋指針「柱筋の絞り位置と絞り方」等)					A・C		
		i) 仕口部分の帯筋の配置確認(参考:配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)					A・B・C		
		j) 第一帯筋と柱頭の拘束帯筋の位置確認(参考:配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)					A・C		
		k) 帯筋のフック形状、結束の確認(参考:配筋指針「帯筋の一般形状」等)					A・B・C		
⑤		はり	a) はり断面寸法、はり主筋の径、本数及び位置の確認					A・B・C	
	b) 中吊り筋の間隔の確保、長さ確認(参考:JASS5「鉄筋の間隔・あきの最小寸法」及び配筋指針「はり端部・中央部の配筋」等)						A・B・C		
	定着・継手	c) はり筋の定着長さ、位置確認(参考:JASS5「はり筋の定着」、RC規準「仕口への定着」等)					A・B・C		
		d) 重ね継手の位置と長さ確認(参考:JASS5「梁筋の継手の位置」「鉄筋の重ね継手の長さ」等)					A・B・C		
		e) はり筋出隅部の鉄筋端部のフック確認					A・B・C		
	ふかし、貫通孔補強	f) ふかしの補強方法が適切か、貫通孔補強の確認(評定品の仕様確認)(参考:配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」「はりの貫通孔補強」等)					A・B・C		
	あばら筋	g) あばら筋の径、本数(副あばら筋共)とピッチの確認					A・B・C		
		h) あばら筋のフック形状、結束の確認(参考:配筋指針「あばら筋の形状」等)					A・B・C		

	片持ちばり	i) 片持ちばり主筋の定着、あばら筋の確認 (参考: 配筋指針「片持ちばりの配筋」等)					A・B・C			
	小ばり	j) 小ばり配筋の位置と定着確認 (参考: 配筋指針「小ばりの端部・中央部の配筋」「定着」等)					A・B・C			
⑥ ス ラ ブ	スラブ筋	a) スラブ厚さの支持条件、寸法、鉄筋のピッチと径の確認					A・B・C			
		b) 主筋配置 (短辺・長辺とベンド配筋)の確認 (参考: 配筋指針「床スラブ」等)					A・C			
	定着、重ね継手	c) 定着と長さ与方法 (はり定着、隣接スラブ、段差スラブ定着)						A・B・C		
		d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保 (先端壁有無) (参考: 配筋指針「片持スラブ」等)						A・B・C		
		e) 継手の位置と長さ (参考: 配筋指針「床スラブ継手位置」等)						A・B・C		
	補強筋等	f) 床スラブの出入隅の補強 (参考: 配筋指針「床スラブに関するその他事項」等)						A・B・C		
		g) 開口部補強配筋確認 (参考: RC規準等)						A・B・C		
		h) 階段部配筋と補強筋確認 (参考: 配筋指針「階段」等)						A・B・C		
	⑦ 壁	壁筋	a) 壁厚、鉄筋の径、ピッチ、位置 (土圧壁主筋・階段受筋)の確認					A・B・C		
b) 定着確認 (はり、柱、スラブ、壁定着) (参考: JASS5及び配筋指針「壁筋の定着」等)								A・B・C		
重ね継手		c) 重ね継手の位置と長さの確認 (参考: JASS5及び配筋指針「壁筋の継手の位置」等)						A・B・C		
		補強筋等	d) 開口補強配筋確認 (参考: 配筋指針「壁開口補強」等)					A・B・C		
			e) スリット (完全、部分)の位置、形状及び配筋確認 (参考: 構造規定「スリットの配置及び詳細」等)						A・B・C	
その他	設備配管	a) 設備配管 (CD管等)の配置確認					A・C			

ガス圧接継手	b) 圧接部の長さおよび膨らみの直径、圧接面のずれ、鉄筋中心軸の偏心量の確認					A ・ C		
	c) 圧接部の検査（引張試験、超音波探傷試験等）の検査箇所、検査率、合格率等の確認（参考：JASS5「ガス圧接継手」等）					C		
特殊鉄筋継手	d) 工法の仕様の確認					A ・ B ・ C		
	e) 認定、評定品以外の場合の、モルタル、グラウト材又はトルク確認					A ・ C		
型枠並びに既存打設部分状況確認	f) 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認（参考：JASS5「型枠の検査」等）					A ・ C		
	g) ジャンカ処理、型枠等木片撤去補修確認（参考：JASS5「不具合とその修理方法の例」等）					A ・ C		
	h) 基礎、柱、はり、床版、壁の躯体寸法の確認					B ・ C		
	i) 型枠支柱存置期間の確認					A ・ C		
	j) コンクリート打設後の養生（参考：JASS5「養生」等）					A ・ C		
	k) コンクリート調合及び圧縮強度の確認（参考：JASS5「構造体コンクリート」強度の検査等）					C		
⑨	不具合の処置及び照合結果の考察							
⑩	添付図書	<input type="checkbox"/> 杭工事施工報告書（杭芯ずれ検討図） <input type="checkbox"/> 鉄筋ミルト <input type="checkbox"/> 鉄骨ミルト <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度試験報告書（四週圧縮強度）、塩化物料、アルカリ骨材反応等の試験または検査表 <input type="checkbox"/> 圧接、溶接等の超音波探傷検査結果報告書						

㊦1 検査機関とは、建築主事又は指定確認検査機関をいう。

㊦2 検査の方法

（A：工事現場で目視により検査する。B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する。C：工事監理報告等の確認による）